

ご支援をいただいたみなさま

お父さんたちのネットワーク

石垣政裕

## 支援のご報告No.17

－南相馬市の保育園への給食費補助－

私たちは報告書No.14から支援を行っている南相馬市の保育園へ再び向かいました。いつものように暑い夏が過ぎ、瓦礫の山も土塵と見まがうほど緑の草に覆われ、生きようとする生命の営みが、現実には起きていることがらのやるせなさを一層引き立てているようにも思われます。左側の津波に洗われた表土は自然の気まぐれとは片づけたくない無惨さ。作りたくても満足に作付けできない右側の田畑は、さらに無限のエネルギーを原子力に求めた人間の傲慢さと片づけたくない無惨さ。私たちは左右に地域を左右に隔てた一本の道路を南下しました。



オリジナル紙芝居

自然との関わりを大切にしたいと園長先生がおっしゃっていたこの保育園は、元の保育園では子どもたちが自然に関わるためにいろいろな園庭に工夫をされていたらしいです。いま保護者の同意を得て、少しでも子どもたちを外で遊ばせたいと努力をしています、計画的避難区域の原町区では子どもたちを保育できず、空間放射線量の低い鹿島区へ場所を移しました。用地を探すのも大変なことです。一時は別の保育園と一緒に開設していたのですが、幸い地域の方々の理解を得て、現在の場所に新たに開設をすることができたと聞



バナナのたたき売り

きました。



しろたにさんの腹話術



ゴローちゃんと握手

さて、子どもたちに小一時間ほど楽しんでもらったのは、紙芝居と腹話術とバナナのたたき売り。石垣が関係する劇団(NPO法人劇団仙台小劇場)は、全日本リアリズム演劇会議という全国の演劇団体の集まりに加盟しており、そこから、しろたにまもるさんの腹話術と渡邊高志さんのバナナのたたき売り(川崎市の京浜協同劇団)、オリジナル紙芝居を熊谷和典さん(NPO法人劇団仙台小劇場)が被災地支援のために南相馬を訪れたわけです。

この保育園の給食費支援のため大分市のおやじネットワークから送られた寄付金もしっかりと届けました。「とても助かる」と大変喜んでおられました。